



安定した適切な透析液濃度が求められることから、透析室から見えなくて臨床工学技士の皆さんが毎日責任を持って管理をしています。

透析液の主な成分は、正常な血液に近い濃度の電解質が必要ですからナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、クロール、重炭酸（重曹）、ブドウ糖が含まれています。

慢性腎不全では、血液中のカリウム、マグネシウム、リンの濃度が高くなり、カルシウム、重炭酸濃度が低くなってきます。通常、透析液は、カリウム、マグネシウム濃度を血液より低くし、リンは含まなくすることでこれらを血液から除去し、カルシウム、重炭酸濃度を高くすることで血液に補給しています。

透析液は体から生成される老廃物の量や体液バランス変化を見込んで作製されていますが、治療前の血液組成や治療中の血圧変化などに合わせて、特別に薬剤を付加して処方透析を行う場合があります。

透析液の求めるものは、組成やその濃度だけではありません。高度に清浄化された透析液を強く望まれています。